

1 単元名 「日本の諸地域—関東地方—」

2 単元目標

- (1) 関東地方における交通・通信網の発達の意味について、捉えた地域的特色を基に、意欲的に追究し、捉えようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 関東地方における交通・通信網の発達の意味について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 関東地方の地域的特色や関東地方における交通・通信網の発達の意味について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、表にまとめたりすることができる。
(資料活用の技能)
- (4) 関東地方における交通・通信網の発達の意味について、捉えた地域的特色を基に、理解することができる。
(社会的事象への知識・理解)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会科地理的分野内容(2)ウ日本の諸地域(キ)他地域との結び付きを中核とした考察を受けて設定した。本単元の目的は、地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などと関連付け、世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考えることである。また、地理的分野の目標(2)では、「地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。」とある。そこで、交通・通信網を中核として地理的事象を多面的・多角的に考察する活動を通して、関東地方において交通・通信網が発達した意味を考えていく。

(2) 生徒観

本学級の生徒に、中学校第2学年地理的分野「日本の諸地域—中部地方—」の学習に関する実態調査を行った(平成*年*月*日実施、第2学年*組*人)。レタス栽培が長野県の農業の発展に与えた影響について、「長野県と東京都の気温」、「中部地方の交通網の整備状況」、「レタスの生産量上位3県の月別出荷量」という三つの情報を関連付けて複数の立場から考察させた結果、上の図のようになった。このことから、事象の特色を捉えるまでにとどまり、社会的事象の意味を考察するまでには至っていないことが分かった。

	消費者	生産者	消費者・生産者
交通→出荷量	*	*	*
気候→出荷量	*	*	*
交通、気候→出荷量	*	*	*

(3) 指導観

本単元の指導では、まず、交通・通信網の発達が人々の生活や産業に与える影響を予想できるように、交通・通信網の発達を見出す資料の提示と派生する事象を予想するワークシートを手立てとして中核の事象とそこから派生する他の事象を見出させる。次に、地域的特色を捉えるため、主題図や資料を活用するワークシートを手立てとして中核の事象と他の事象を関連付け・総合する。最後に、交通・通信網の発達の意味を考察するために、多角的な考察を促す問いを手立てとして捉えた地域的特色を再構成させる。これらの学習活動を通して、交通・通信網の発達の意味を多面的・多角的に考察させていきたい。

4 単元の指導

(1) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・関東地方における交通・通信網の発達の意味について、関心を高め意欲的に追究し、捉えようとしている。	・関東地方における交通・通信網の発達の意味について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・関東地方における交通・通信網の発達の意味を収集した資料から有用な情報を適切に選択しそれらを基に読み取ったり、表にまとめたりしている。	・関東地方における交通・通信網の発達の意味について、捉えた地域的特色を基に理解することができる。

(2) 単元計画

時	主な学習活動・内容	指導上の留意点と評価 (◎評価) ※地理的事象の意味を多面的・多角的に考察する力を育成するための手立て
1	<p>1 50年前と現在の都心の写真から、都市の変化に気付く。</p> <p>2 なぜ都市が発達したのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まったから ・店がたくさんできたから ・工業が発展したから ・交通が発達したから <p>3 他地域と比べ、なぜ関東地方だけ放射状で細かく交通が発達したのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一広い平野があるから ・海に面しているから <p>4 交通・通信網が発展すると関東地方にどのような影響があるのかを「するとシート①」を作成して考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網が発達する→人口が増える→働く場所が増える <p>5 単元の学習課題を確認する。</p> <p>関東地方の人々の生活や産業は、交通・通信網の発達によって、どのような影響を受けているのでしょうか。</p>	<p>・都心の発達に最も寄与したのは何かを考えることで、交通・通信網の発達が中核にあるということにつなげていく。</p> <p>・地図を活用することで、関東地方の交通・通信網の発達は自然環境が関係しているのではないかと考えさせる。</p> <p>※「するとシート①」を活用させ、交通・通信網の発達は関東地方にどのような影響を与えたかを予想させる。また、「するとどうなるか」という発問を通して、交通・通信網の発達の影響を考えさせる。</p> <p>◎関東地方の都市化の要因を、交通・通信網の発達を基に追究し、予想しようとしている。(関心・意欲・態度)(ワークシート)</p>
2	<p>1 2枚の宇都宮線の車内の様子から、どちらが朝の上り線、どちらが下り線なのかを予想し、理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混んでいるから上り線 <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>なぜ東京には人が集まってくるのでしょうか。</p> <p>3 人々は東京のどこに集まっていくのかを、地図帳で調べる。</p> <p>4 東京の中心には何があるかを調べ、そこは人々や日本にとってどのような影響を与えているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報を発信するところ <p>5 情報を発信する官公庁やテレビ局があると、なぜ東京に人が集まるのかを「するとシート①」を作成することで予想する。</p> <p>6 「するとシート①」の予想を、資料から読み取った情報を基に確認する。</p> <p>7 本時のまとめをする。</p> <p>政治や経済の中心が東京にあるので、東京には日本国内だけでなく、世界各地から人や物、資金、情報などが集まるとともに、これらは東京から世界へ向けて送り出されている。そのため、交通・通信網が発達している。</p>	<p>・混雑の様子から上り線と予想する生徒に対して、なぜ東京へ向かう上り線は混雑をするのか、を考えさせる。</p> <p>・交通網が描かれている地図を、都心を中心に拡大して見せることで、交通の中心には何があるのかを見出させる。</p> <p>・作成した「するとシート①」を基に、交通・通信網の発達と、地図に現れている地理的事象の関係性を見出させる。</p> <p>※事象と事象を関連付ける資料を選択させ、特色を捉えさせる。</p> <p>※見出した関係性は社会にどのような影響を与えたのか、都心に住む人や郊外に住む人など様々な立場から考えさせる。</p> <p>◎政治や経済の中心が交通・通信網の中心になっていることについて、調べた情報を読み取ったり、分かったことをワークシートにまとめたりしている。(資料活用の技能)(ワークシート)</p>
3	<p>1 閉校した小中学校の推移や、人口が減少しているグラフを提示し、関東地方のこの場所なのかを考える。</p> <p>2 地図から東京都港区の場所を調べ、港区と横浜市の人口推移のグラフを比較することで、なぜ港区の学校数や人口が減少したのかを考える。</p> <p>3 学習課題を確認する。</p> <p>なぜ、都心の人は郊外に住むようになったのだろうか。</p> <p>4 選択した主題図や資料を根拠として、なぜ郊外に人が移り住んだのかという「するとシート②」を作成することでまとめる。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>都心の人が郊外に移り住むようになったのは、生活環境が悪化し、地価が高騰した東京に住まなくても、交通網の発達により郊外から通えるようになったから。</p>	<p>・2000年までは港区の人口は減少していること、2000年にかけて横浜市市の人口は増加していることを比較させ、人の移動が起きていることを想起させる。</p> <p>・前時の学習から、人が郊外へ移り住んだ理由を交通網の整備を基に考えさせることで、学習課題に対する意欲を高める。</p> <p>※事象と事象を関連付ける資料を選択させることで特色を捉えさせる。</p> <p>※交通・通信網の発達という中核の事象を表す主題図と、関東地方における人口分布やそこから派生する影響を表す主題図や資料を、「すると」という接続詞を使って、つなげさせる。</p> <p>◎関東地方の人口分布と交通・通信網の発達との関係性について、その過程や結果を適切に考察し、表現している。(社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p>
4	<p>1 1960年の関東地方における各都県の工業出荷額の順位を提示し、交通・通信網が発達したことで2010年における順位はどのように変化したかを予想させる。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>なぜ郊外の工業は発展したのだろうか。</p> <p>3 郊外の工業が発展した理由と要因を予想する。</p> <p><東京の工業出荷額が減少した理由><郊外の工業が発展した理由></p> <p><臨海部の工業が発展した理由></p> <p>4 選択した主題図や資料を根拠として、なぜ郊外に工業が発展したのかを「するとシート②」を作成することでまとめる。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>郊外の工業が発展したのは、交通網の発達により材料や製品の輸送がしやすくなったことと郊外の人口が増えたことで労働力が高まったからである。一方、都心は人が密集し工場は建てられないが、情報が集まることから印刷業やサービス業などが盛んになった。</p>	<p>・人口が集まっているはずの東京において工業出荷額の順位が低いことを示すことで生徒に驚きを与えて、学習課題に対する意欲を高める。</p> <p>・郊外に工業が発展することができた理由や要因を、交通網を基に考えさせることで、「するとシート②」の学習に思考をつなげていく。</p> <p>※事象と事象を関連付ける資料を選択させることで特色を捉えさせる。</p> <p>※交通・通信網の発達という中核の事象を表す主題図と、郊外における工業地域の発展を表す主題図や資料を、「すると」という接続詞を使って、つなげさせる。</p> <p>◎関東地方の工業について、交通・通信網の発達という中核の事象を基に、地域的特色を捉え、総合的に理解している。(社会的事象への知識・理解)(ワークシート)</p>
5	<p>1 日本の7地方区分による野菜の生産額の統計から、関東地方の順位を予想する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>なぜ関東地方は野菜作りが盛んなのだろうか。</p> <p>3 関東地方で野菜作りが盛んな理由と要因を予想する。</p> <p>4 選択した主題図や資料を根拠として、なぜ関東地方は野菜作りが盛んなのかを「するとシート②」を作成することでまとめる。</p> <p>5 関東地方で野菜作りが盛んな地域を表している主題図を提示する。</p> <p>6 発展課題を確認する。</p> <p>なぜ都心から遠い地域でも野菜作りが盛んな地域があるのだろうか。</p> <p>7 本時のまとめをする。</p> <p>関東地方では、遠く離れた郊外からでも野菜を新鮮に素早く運べるようになり、郊外における農業が発展した。</p> <p>8 前時までの学習から単元を通して解決する学習課題についてまとめる。</p> <p>関東地方は交通・通信網が発達したことによって人口が最も集まっている地域で、工業・農業も交通網に沿って郊外に拡大して発展している地域である。</p>	<p>・都市化や工業化が進んでいる関東地方の野菜生産額の順位が全国で1位ということを示すことで生徒に驚きを与え、学習課題に対する意欲を高める。</p> <p>・関東地方で野菜作りが盛んになった理由や要因を、交通網を基に考えさせることで、「するとシート②」の学習に思考をつなげていく。</p> <p>※事象と事象を関連付ける資料を選択させることで特色を捉えさせる。</p> <p>※交通・通信網の発達という中核の事象を表す主題図と、郊外における農業の発展を表す主題図や資料を、「すると」という接続詞を使って、つなげさせる。</p> <p>◎関東地方の農業と交通・通信網の発達との関係性について、その過程や結果を適切に考察し、表現している。(社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p> <p>・単元を通して解決する課題を確認させ、今までの学習から関東地方の特色を総合してまとめさせる。</p>
6 本時	<p>1 再構成する学習課題を設定する。</p> <p>関東地方の産業をより発展させるためには、どちらの交通網から整備するのがよいのだろうか。</p> <p>2 関東地方の今後の交通網のあり方について考える。</p> <p>(1) 交通網を都心と郊外を結ぶ「縦の交通網」を増やすべきか、郊外の都市同士を結ぶ「横の交通網」を増やすべきかを、四人グループになり、以下の産業ごとに個人で考える</p> <p>ア「地方で野菜作りを行う農業」 イ「北関東工業地域の工業」 ウ「郊外の商業(ショッピングモール)」</p> <p>(2) 三つの産業に対する交通網の在り方を踏まえ、関東地方の産業の発展にとって縦と横のどちらの整備を優先すべきかを考える。</p> <p>(3) グループ内、全体で発表して、三つの産業ごとに縦の整備の利点、横の整備の利点をまとめる。</p> <p>3 交通網の整備について最終決定をし、学習のまとめをする。</p> <p>(1) 関東地方の産業がより発展するための交通網の整備について、個人で再考し、理由を踏まえて最終決定をする。</p> <p>(2) 全体で発表して、学習のまとめを行う。</p>	<p>・関東地方の産業にとって縦(都心と郊外)と横(郊外と郊外)のどちらの交通網の整備を優先すべきなのか、ということを考えさせ、活動の見通しをもたせる。</p> <p>・前時までの学習で学んだことを基にして考察するように伝える。</p> <p>・前時までに作成したワークシートなどを活用させることで、単元を通しての一貫性をもたせる。</p> <p>・交通網の整備を選ぶ際には、関東地方の三つの産業全体にとっては、どちらの整備を優先させるべきか、という価値判断をさせていく。</p> <p>・グループ内の発表、全体での発表を通して三つの産業に対する縦と横の交通網の整備による利点をまとめることで、自分の考えを再度見直す。</p> <p>◎関東地方における交通・通信網の発達の意味について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に考察し、表現している。(社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p>

5 本時の指導

- (1) 目標 関東地方における交通・通信網の発達の役割や発達が社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- (2) 準備・資料
ワークシート、前時までの授業で作成したワークシート、プロジェクター、スクリーン
- (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点と評価 (◎が評価)
<p>1 再構成する学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関東地方の産業をより発展させるためにはどちらの交通網から整備するのがよいのだろうか。</p> </div> <p>2 関東地方における産業の発展のため、交通網の整備について考える。</p> <p>(1) 以下の三つの産業ごとに、縦と横のどちらの交通網の整備すべきかを決め、理由を書く。 「地方で野菜作りを行う農業」 「北関東工業地域の工業」 「郊外の商業（ショッピングモール）」</p> <p>(2) 三つの産業に対するそれぞれの交通網の在り方を踏まえ、関東地方の産業の発展にとって縦と横のどちらの整備を優先すべきかを考える。</p> <p>(3) グループ内で発表して、意見を交換する。</p> <p>(4) 全体で発表して、三つの産業ごとに縦の整備をする利点、横の整備をする利点をまとめる。</p> <p>3 交通網の整備について最終決定をし、学習のまとめをする。</p> <p>(1) 関東地方の産業がより発展するための交通網の整備について、個人で再考し、理由を踏まえて最終決定をする。</p> <p>(2) 全体で発表し、学習のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例) 関東地方の産業の発展のためには、縦の整備を優先的にしていく方がよいと考える。なぜなら都心と郊外を結ぶことで農業は大消費地に農作物をより一層輸送できるようになり、工業も東京湾から輸入した材料を輸送しやすいからである。また、商業にとっては都心からの集客がより見込めるようになるからである。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方の産業にとって都心と郊外という縦の交通網と、郊外と郊外という横の交通網のどちらの整備を優先すべきなのか、ということを考えさせ、活動の見通しをもたせる。 ・前時までの学習で学んだことを基にして考えるように伝える。 ・前時までに作成したワークシートなどを活用させることで、単元を通しての一貫性をもたせる。 ・交通網の整備を選ぶ際には、三つの産業にとっての縦か横かという判断を踏まえつつ、関東地方の三つの産業全体にとっては、どちらの整備を優先させるべきか、という価値判断をさせていく。 ・グループ内の発表、全体での発表を通して三つの産業に対する縦と横の交通網の整備による利点をまとめることで、再考につなげていく。 ・考える際には、欠点はあるものの、それを補って余りある利点があるから「縦の（もしくは横の）交通網の整備が優先度が高い」という価値判断を通して、身に付けた知識を基に再構成させる。 <p>◎関東地方における交通・通信網の発達の役割や発達が社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p>